

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理小委員会	主 査 名：山中 俊夫 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境心理生理運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：大井 尚行
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：本小委員会は、感覚・知覚心理をキーワードとして、横断的な委員会を組織して、研究交流を活発化することを目的とする。 ・ 建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム (第 5 回)「物理量と感覚・知覚 (仮題)」の開催の開催 (2008 年 5 月 24 日) ・ 屋外空間の心理生理評価 WG の成果公表シンポジウムの開催 (2008 年 10 月～11 月) ・ 建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム (第 6 回)「感覚・知覚心理研究の展望 (仮題)」の開催 (2009 年 3 月) の開催	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し 秋田剛 (東京電機大学), 梅宮典子 (大阪市立大学), 太田篤史 (横浜国立大学), 翁長博 (近畿大学), 合掌頭 (岐阜大学), 兼子朋也 (米子高専), 澤島智明 (佐賀大学), 高田曉 (神戸大学), 長野和雄 (島根大学), 西名大作 (広島大学), 原直也 (関西大学), 松原斎樹 (京都府立大学), 光田恵 (大同工業大学), 山中俊夫 (大阪大学) 以上 14 名	
設置 WG (WG 名：目的)	屋外空間における環境評価WG：屋外・半屋外空間の環境評価法について検討	
2008 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 5 回建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム 「物理量と感覚・知覚」(2008.5.24) 参加者数 65 名 (資料名)：「建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム (第 5 回) 物理量と感覚・知覚」 2. 第 6 回建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム 「屋外・半屋外空間の心理生理評価を考える」(2009.3.14)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2 回の委員会と 1 回のシンポジウム開催により、今年度の目標はほぼ達成された。第 6 回建築空間における感覚・知覚心理シンポジウムは年度内に開催される予定である。
委員会活動の問題点・課題	特になし

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

## 2008 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

<b>総合評価 (4 段階評価)</b>	<b>A</b>
<b>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</b>	<p>当初、3回のシンポジウムの開催を予定していたが、当初に予定していた（第6回シンポジウム）「感覚・知覚心理研究の展望」については、テーマを変更し、「屋外・半屋外空間の心理生理評価を考える」とし、計2回のシンポジウムを実施した。これは、大会でのオーガナイズドセッションの成果をより発展させ、WG活動の成果をより進展させるためであった。シンポジウムでは、活発な意見交換を行い、十分な成果が得られたと言える。一方、年度当初予定していた「感覚・知覚心理研究の展望」についての議論は、第2回の小委員会の場で、いくつかのテーマについて長時間にわたる議論を行い、十分な成果が得られたと考えている。以上のように、若干の予定変更はあったものの、シンポジウム・委員会を通して研究交流を活発化することができ、当初の目的の80%以上は達成できたものとする。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。